

## ●竹蛇籠製作講習会

10月2日午前中3名 午後5名 竹割 ヒビ入れ作業 29本/72本

10月3日午前中3名 午後3名 31本/72本

**出来上がった31本のうち6本を2本ずつドッキングさせ、4mに仕上げたものが3本できあがる**

蛇籠作りは43%に到達しています。作業に関わっていただいたのは延べ56人の皆さんで延べ作業時間は211時間でした。多くの皆さんが関わっていただいて本当にありがとうございます。しかしまだ57%（41本）の製作を続けなくてはなりませんので、ここで気を緩めるわけにはいかないのです。これまで大変なご協力をお寄せいただきましたが、更なる一層のお力をお寄せいただけますようお願いいたします。またこの竹蛇籠の製作講習会は今後継続することができるのか来年度も取り組むことになるのか不明確であります。ですからこういった経験ができるのは今回限りになるかもしれないという局面でもありますので伝統技術の伝承という点での講習会は10回程度の開催になりますので、大変大切なチャンスになってきます。竹蛇籠に大きな関心を持っていたいる方々の取っては非常に貴重な回数になりますので多くの皆さん方にぜひお知らせ頂きますようお願いいたします。見通しとしては10月末日で完了とする計画です。

また竹蛇籠作成方法のDVDも製作してありますので、必要なお方にはご購入をお願いします。講習会にご参加いただいた皆様には参考資料として 又、普及のためとして無料で配布していますので、ぜひお越しくさるようお願いいたします。購入希望の場合には代金（2000円）振り込んでいただいた場合、送付させていただきます。里山の会のメールでお申し込み下さい。皆様からの連絡をお待ちしています。申し込み受け付け期日は10月末日とします（製作講習会期間内で終了です）

## ●山下さんから無煙炭器の寄付の申し入れがありました

現在里山の会では、京田辺市の打田薪炭組合が所有していた炭焼き釜を使用させていただいて、木炭を年間1~2回生産しています。原木を切り出し乾燥させてなど、事前の準備の調整を大勢の仲間と図らねばなりません。しかし今回の山下さんからの寄付の申し出の器具は、直径1mのステンレス製の底の抜けた鍋で、炎が高く燃えあがるという特徴があるとのことで、婦女子でも取り扱えるとの説明だったのです。竹蛇籠での廃材や除草の枯れ草が燃料に最適なので里山農園で試しの使用を試みようとの結論に至りました。

## ●2021年度も10月になり半年が経過しました

そしてこの間は、コロナ関係の感染予防のために緊急事態宣言が宣告され、商業、産業、特に観光業関係は大きな影響が出ています。私たちも比較的広い場所でのイベントも三密を避けるために活動をほとんど中止せざるを得ないような状態が続いてきました。やっと宣言解除となったけれど、もろ手を挙げて活動を再開できるということにはならず、マスクの着用や手洗い、三密を避けて感染の第6波が拡大しないようにしなければならないわけです。まだまだこれからが正念場となりそうです。

2021年度後半のイベントは竹蛇籠の製作が43%の到達ですから残り41個を作り上げなくてはなりません。また11月には木津川希少種生調査の除草作業、年末年始の諸事業、そして春の七草摘み、黒豆味噌づくり、炭焼き体験 地域説明会の開催 加えて各種年度報告書の作成等目白押しの計画が待ち受けています。今年は、各イベントは3か月前に企画書を作り上げると総会で決めてきましたが、なかなかこれまでの流れを改めることはできていません。前半が終わり、いよいよ後

半に差し掛かりましたので、何とかしなくてはと思いますが、課題は大きいようです。京都府交響プロジェクト交付金の申請イベントではそのほとんどがコロナで大変は影響を受けたわけなので、後半戦で盛り返さなければと担当の有田さんがファイトを燃やし中聖牛設置や竹蛇籠製作講習会が成功できるようにと頑張っていただいています。長期的な取り組みで特に中聖牛設置は2月頃で計画年度末の取組みになってくるようですので大変です。皆様のご協力を切にお願いします。

●山城地域には77校小学校がありますが、小学校の校歌の歌詞を調査すると木津川という歌詞を含んでいるのが37校あり、宇治川や単なる川というものを入れると50校にもなります。65%の小学校で川がとりあげられているのです。しかし実際に地域の川として川の果たしている役割が正しく教えられているのでしょうか、私たちの「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」に参加した子ども達や大人達のアンケートではこんなに魚がいるなんて初めて知ったとか、もっと川に来てみたいとか、こんなに楽しい所であると初めて知った、来年も期待するなどとの声ばかりです。大人たちの感想では初めて木津川に来たというのが圧倒的です。ほとんど川で楽しんでこなかったということがわかります。このことからもっと川で遊ぶチャンス増やしていかなければならないのではないのでしょうか。ちなみに校歌に「山」を取り入れている学校は22校でした。山城はお茶の地域ですが校歌に「茶」が入っているのは宇治市で4校、八幡市と宇治田原町、和束町の7校でした。京田辺市にはありませんでした。

| 京都府山城教育局管内 全小学校 校歌 |     |     |     |   |   |   |    |   |    |    |              |     |
|--------------------|-----|-----|-----|---|---|---|----|---|----|----|--------------|-----|
| 校歌に使用されている「語句」調べ   |     |     |     |   |   |   |    |   |    |    |              |     |
|                    | 学校数 | 木津川 | 宇治川 | 川 | 茶 | 霧 | 地名 | 花 | 山  | 世界 | 山 名          | 川 名 |
| 宇治市                | 22  | 1   | 9   | 1 | 4 | 2 |    |   | 2  | 1  | 御蔵山 炭山 比叡山   | 名木川 |
| 城陽市                | 10  | 8   |     |   |   | 1 | 2  |   | 5  |    | さぎ坂山 鷲峰山 鴻巣山 |     |
| 久御山町               | 3   | 2   |     |   |   |   |    |   |    |    |              |     |
| 八幡市                | 8   | 5   |     |   | 1 | 1 |    |   | 6  |    | 男山 南山 美濃山    |     |
| 京田辺市               | 9   | 8   |     |   |   |   |    |   | 4  | 1  | 甘南備          |     |
| 井手町                | 2   |     |     | 1 |   |   |    |   | 1  |    | 多賀の山         | 玉川  |
| 宇治田原町              | 2   |     | 1   | 1 | 1 |   |    |   | 1  |    | 鷲峰山          | 田原川 |
| 木津川市               | 13  | 8   |     |   |   |   |    | 1 | 2  | 4  | 鹿背山 城山       |     |
| 精華町                | 5   | 3   |     |   |   |   |    |   |    | 1  |              |     |
| 笠置町                | 1   | 1   |     |   |   |   |    |   |    |    |              |     |
| 和束町                | 1   |     |     |   | 1 |   |    |   | 1  |    | 鷲峰山          |     |
| 南山城村               | 1   | 1   |     |   |   |   |    |   |    |    |              |     |
| 合計                 | 77  | 37  | 10  | 3 | 7 | 4 | 2  | 1 | 22 | 7  |              |     |